

ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第186期（決算日 2018年 5 月15日）
第187期（決算日 2018年 6 月15日）
第188期（決算日 2018年 7 月17日）
第189期（決算日 2018年 8 月15日）
第190期（決算日 2018年 9 月18日）
第191期（決算日 2018年10月15日）

(作成対象期間 2018年4月17日～2018年10月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。	

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSEオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
162期末(2016年 5 月16日)	7,823	80	△4.8	25,966	△4.5	95.7	6.5	10,504
163期末(2016年 6 月15日)	7,658	80	△1.1	25,906	△0.2	93.9	8.1	10,286
164期末(2016年 7 月15日)	7,846	80	3.5	26,959	4.1	97.6	0.6	10,684
165期末(2016年 8 月15日)	7,524	80	△3.1	26,105	△3.2	96.0	0.6	10,211
166期末(2016年 9 月15日)	7,320	80	△1.6	25,490	△2.4	97.2	－	9,922
167期末(2016年10月17日)	7,450	80	2.9	26,212	2.8	97.3	－	10,052
168期末(2016年11月15日)	7,533	80	2.2	26,498	1.1	97.4	△2.3	10,190
169期末(2016年12月15日)	7,938	80	6.4	28,150	6.2	97.8	△2.3	10,716
170期末(2017年 1 月16日)	7,739	80	△1.5	27,842	△1.1	96.3	△2.3	10,471
171期末(2017年 2 月15日)	7,839	80	2.3	28,481	2.3	96.7	△2.4	10,607
172期末(2017年 3 月15日)	7,658	80	△1.3	27,972	△1.8	96.9	△4.2	11,310
173期末(2017年 4 月17日)	7,293	80	△3.7	27,249	△2.6	96.3	△3.6	10,743
174期末(2017年 5 月15日)	7,351	80	1.9	27,627	1.4	97.0	△3.6	10,812
175期末(2017年 6 月15日)	7,267	80	△0.1	27,847	0.8	96.9	△6.6	10,763
176期末(2017年 7 月18日)	7,500	80	4.3	28,869	3.7	96.7	△6.6	11,141
177期末(2017年 8 月15日)	7,381	80	△0.5	28,804	△0.2	97.2	△6.7	11,003
178期末(2017年 9 月15日)	7,401	80	1.4	29,136	1.2	97.2	△6.7	11,103
179期末(2017年10月16日)	7,341	80	0.3	29,175	0.1	97.1	△6.8	10,963
180期末(2017年11月15日)	7,123	80	△1.9	28,754	△1.4	97.2	△7.0	10,577
181期末(2017年12月15日)	7,091	60	0.4	28,949	0.7	97.4	△7.1	10,461
182期末(2018年 1 月15日)	7,135	60	1.5	29,270	1.1	96.7	△7.1	10,466
183期末(2018年 2 月15日)	6,821	60	△3.6	28,189	△3.7	97.7	△7.2	9,970
184期末(2018年 3 月15日)	6,692	60	△1.0	28,045	△0.5	97.7	△7.2	9,785
185期末(2018年 4 月16日)	6,625	60	△0.1	28,073	0.1	97.6	△5.6	9,672
186期末(2018年 5 月15日)	6,520	60	△0.7	27,834	△0.9	97.5	△5.6	9,457
187期末(2018年 6 月15日)	6,456	60	△0.1	27,908	0.3	97.5	△4.7	9,334
188期末(2018年 7 月17日)	6,486	60	1.4	28,430	1.9	97.7	△4.8	9,343
189期末(2018年 8 月15日)	6,252	40	△3.0	27,603	△2.9	97.8	△4.8	8,999
190期末(2018年 9 月18日)	6,183	40	△0.5	27,481	△0.4	97.7	△5.0	8,484
191期末(2018年10月15日)	6,086	40	△0.9	27,157	△1.2	97.5	－	8,311

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E オーストラリア国債インデックス (円換算) は、F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

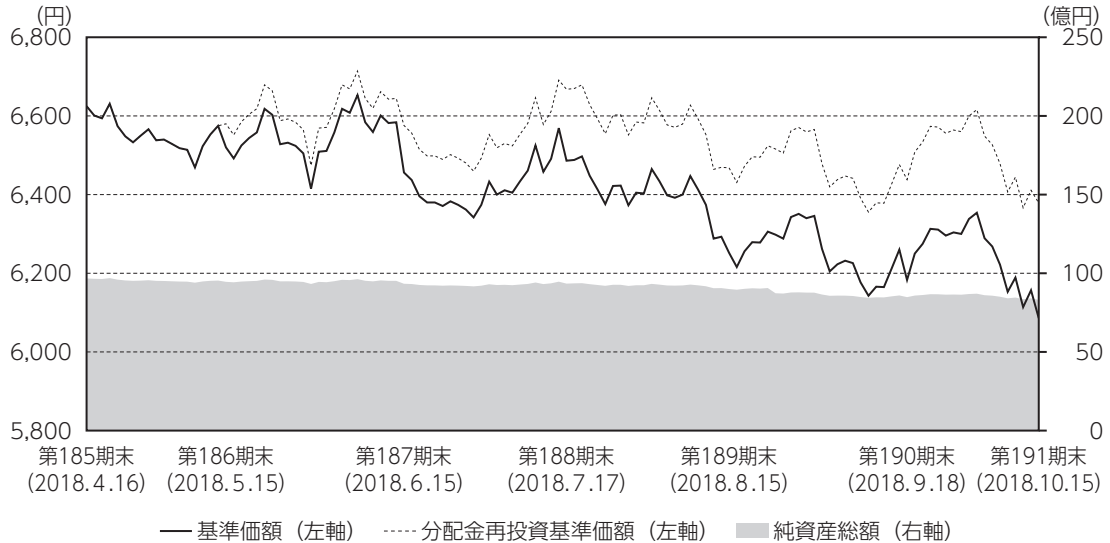
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第186期首：6,625円

第191期末：6,086円（既払分配金300円）

騰 落 率：△3.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、豪ドルが円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E オーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第186期	(期首) 2018年 4 月16日	円 6,625	% －	28,073	% －	% 97.6	% △5.6
	4 月末	6,538	△1.3	27,587	△1.7	97.4	△5.6
	(期末) 2018年 5 月15日	6,580	△0.7	27,834	△0.9	97.5	△5.6
第187期	(期首) 2018年 5 月15日	6,520	－	27,834	－	97.5	△5.6
	5 月末	6,509	△0.2	27,943	0.4	97.5	△5.7
	(期末) 2018年 6 月15日	6,516	△0.1	27,908	0.3	97.5	△4.7
第188期	(期首) 2018年 6 月15日	6,456	－	27,908	－	97.5	△4.7
	6 月末	6,374	△1.3	27,664	△0.9	97.1	△4.8
	(期末) 2018年 7 月17日	6,546	1.4	28,430	1.9	97.7	△4.8
第189期	(期首) 2018年 7 月17日	6,486	－	28,430	－	97.7	△4.8
	7 月末	6,403	△1.3	28,045	△1.4	97.1	△4.8
	(期末) 2018年 8 月15日	6,292	△3.0	27,603	△2.9	97.8	△4.8
第190期	(期首) 2018年 8 月15日	6,252	－	27,603	－	97.8	△4.8
	8 月末	6,262	0.2	27,678	0.3	98.3	△4.9
	(期末) 2018年 9 月18日	6,223	△0.5	27,481	△0.4	97.7	△5.0
第191期	(期首) 2018年 9 月18日	6,183	－	27,481	－	97.7	△5.0
	9 月末	6,300	1.9	27,975	1.8	97.7	△4.9
	(期末) 2018年10月15日	6,126	△0.9	27,157	△1.2	97.5	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.4.17～2018.10.15)

■オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、当作成期を通して、金利はおおむね横ばいから低下となりました。

当作成期首より、米国と中国の貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、オーストラリアの金利は上昇傾向となりましたが、2018年5月後半以降は、イタリアの政治情勢や米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから金利は低下傾向となりました。また、トルコ情勢への懸念が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことなども、金利の低下材料となりました。9月以降は、オーストラリアのGDP（国内総生産）などの経済指標が堅調だったことやリスク資産の価格が堅調に推移したことなどから、金利は上昇傾向となりました。

■為替相場

豪ドルは、当作成期を通して下落（円高）しました。

当作成期首より、米中貿易摩擦やイタリアの政治情勢、経済指標の動向などに左右されつつも、豪ドル円は方向感のない推移が続きました。2018年8月に入ると、トルコ情勢への警戒感が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、豪ドル円は下落しました。9月中旬以降は新興国通貨安への懸念が後退し、市場のリスク回避姿勢が和らぐ中でいったん豪ドル円は上昇しましたが、10月に入ると、再度市場のリスク回避姿勢が強まる中で円高豪ドル安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2018.4.17～2018.10.15)

■当ファンド

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することを通して豪ドル建ての公社債等を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

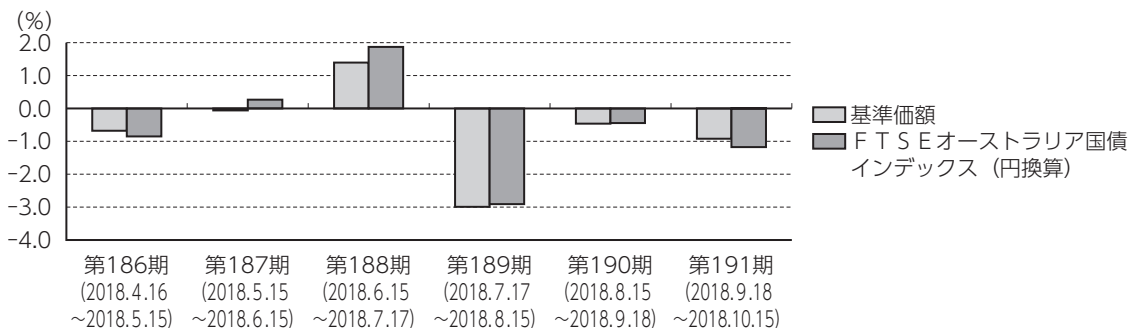
ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
	2018年4月17日 ～2018年5月15日	2018年5月16日 ～2018年6月15日	2018年6月16日 ～2018年7月17日	2018年7月18日 ～2018年8月15日	2018年8月16日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月15日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	40	40	40
対基準価額比率（％）	0.91	0.92	0.92	0.64	0.64	0.65
当期の収益（円）	11	12	18	11	12	10
当期の収益以外（円）	48	47	41	28	27	29
翌期繰越分配対象額（円）	600	553	511	482	455	425

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 11.43円	✓ 12.30円	✓ 18.35円	✓ 11.28円	✓ 12.55円	✓ 10.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 649.54	✓ 601.00	✓ 553.32	✓ 511.69	✓ 482.98	✓ 455.54
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	660.98	613.31	571.68	522.97	495.54	465.65
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	600.98	553.31	511.68	482.97	455.54	425.65

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第186期～第191期 (2018.4.17～2018.10.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0.673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,403円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.269)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.000	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.022	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.695	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年4月17日から2018年10月15日まで)

決 算 期	第 186 期 ～ 第 191 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド	19,226	52,565	418,653	1,134,468

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第185期末	第 191 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3,516,534	3,117,107	8,270,931

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年5月15日)、(2018年6月15日)、(2018年7月17日)、(2018年8月15日)、(2018年9月18日)、(2018年10月15日)現在

項 目	第 186 期 末	第 187 期 末	第 188 期 末	第 189 期 末	第 190 期 末	第 191 期 末
(A) 資産	9,570,378,625円	9,438,986,483円	9,452,237,013円	9,069,242,955円	8,561,904,170円	8,377,941,322円
コール・ローン等	142,090,692	145,721,707	141,281,223	113,420,158	107,640,848	102,987,057
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド(評価額)	9,413,135,798	9,288,452,670	9,299,525,677	8,955,313,637	8,444,020,547	8,270,931,806
未収入金	15,152,135	4,812,106	11,430,113	509,160	10,242,775	4,022,459
(B) 負債	112,830,907	104,276,424	108,679,824	70,046,987	77,813,918	66,538,335
未払収益分配金	87,037,599	86,756,503	86,430,327	57,580,776	54,887,965	54,624,873
未払解約金	15,501,816	6,502,244	11,059,281	2,303,529	11,656,275	2,989,272
未払信託報酬	10,229,850	10,890,255	10,996,967	9,910,449	10,951,819	8,554,930
その他未払費用	61,642	127,422	193,249	252,233	317,859	369,260
(C) 純資産総額(A－B)	9,457,547,718	9,334,710,059	9,343,557,189	8,999,195,968	8,484,090,252	8,311,402,987
元本	14,506,266,656	14,459,417,269	14,405,054,623	14,395,194,058	13,721,991,474	13,656,218,422
次期繰越損益金	△ 5,048,718,938	△ 5,124,707,210	△ 5,061,497,434	△ 5,395,998,090	△ 5,237,901,222	△ 5,344,815,435
(D) 受益権総口数	14,506,266,656□	14,459,417,269□	14,405,054,623□	14,395,194,058□	13,721,991,474□	13,656,218,422□
1万口当り基準価額(C/D)	6,520円	6,456円	6,486円	6,252円	6,183円	6,086円

*第185期末における元本額は14,600,754,344円、当作成期間（第186期～第191期）中における追加設定元本額は250,223,686円、同解約元本額は1,194,759,608円です。
*第191期末の計算口数当りの純資産額は6,086円です。
*第191期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,344,815,435円です。

■投資信託財産の構成

2018年10月15日現在

項 目	第 191 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	8,270,931	98.7
コール・ローン等、その他	107,009	1.3
投資信託財産総額	8,377,941	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル=79.59円です。
(注3) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドにおいて、第191期末における外貨建純資産（14,265,989千円）の投資信託財産総額（14,293,341千円）に対する比率は、99.8％です。

■損益の状況

第186期 自2018年4月17日 至2018年5月15日 第189期 自2018年7月18日 至2018年8月15日
 第187期 自2018年5月16日 至2018年6月15日 第190期 自2018年8月16日 至2018年9月18日
 第188期 自2018年6月16日 至2018年7月17日 第191期 自2018年9月19日 至2018年10月15日

項 目	第 186 期	第 187 期	第 188 期	第 189 期	第 190 期	第 191 期
(A) 配当等収益	△ 3,024円	△ 2,992円	△ 3,604円	△ 2,963円	△ 3,631円	△ 2,708円
受取利息	10	12	13	6	62	14
支払利息	△ 3,034	△ 3,004	△ 3,617	△ 2,969	△ 3,693	△ 2,722
(B) 有価証券売買損益	△ 55,249,243	5,036,901	141,578,338	△ 270,282,333	△ 28,327,855	△ 68,841,622
売買益	758,518	5,597,227	141,958,748	451,613	3,667,794	882,195
売買損	△ 56,007,761	△ 560,326	△ 380,410	△ 270,733,946	△ 31,995,649	△ 69,723,817
(C) 信託報酬等	△ 10,291,717	△ 10,956,763	△ 11,064,328	△ 9,970,738	△ 11,017,609	△ 8,606,403
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 65,543,984	△ 5,922,854	130,510,406	△ 280,256,034	△ 39,349,095	△ 77,450,733
(E) 前期繰越損益金	△2,514,524,411	△2,575,674,333	△2,581,855,925	△2,465,879,550	△2,628,189,551	△2,668,454,572
(F) 追加信託差損益金	△2,381,612,944	△2,456,353,520	△2,523,721,588	△2,592,281,730	△2,515,474,611	△2,544,285,257
(配当等相当額)	(942,251,965)	(869,022,981)	(797,069,875)	(736,592,411)	(662,756,102)	(622,105,254)
(売買損益相当額)	(△3,323,864,909)	(△3,325,376,501)	(△3,320,791,463)	(△3,328,874,141)	(△3,178,230,713)	(△3,166,390,511)
(G) 合計(D+E+F)	△4,961,681,339	△5,037,950,707	△4,975,067,107	△5,338,417,314	△5,183,013,257	△5,290,190,562
(H) 収益分配金	△ 87,037,599	△ 86,756,503	△ 86,430,327	△ 57,580,776	△ 54,887,965	△ 54,624,873
次期繰越損益金(G+H)	△5,048,718,938	△5,124,707,210	△5,061,497,434	△5,395,998,090	△5,237,901,222	△5,344,815,435
追加信託差損益金	△2,452,066,683	△2,525,316,592	△2,583,711,971	△2,633,616,163	△2,553,133,079	△2,585,112,903
(配当等相当額)	(871,798,226)	(800,059,909)	(737,079,492)	(695,257,978)	(625,097,634)	(581,277,608)
(売買損益相当額)	(△3,323,864,909)	(△3,325,376,501)	(△3,320,791,463)	(△3,328,874,141)	(△3,178,230,713)	(△3,166,390,511)
繰越損益金	△2,596,652,255	△2,599,390,618	△2,477,785,463	△2,762,381,927	△2,684,768,143	△2,759,702,532

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 186 期	第 187 期	第 188 期	第 189 期	第 190 期	第 191 期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,583,860円	17,793,431円	26,439,944円	16,246,343円	17,229,497円	13,797,227円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	942,251,965	869,022,981	797,069,875	736,592,411	662,756,102	622,105,254
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	958,835,825	886,816,412	823,509,819	752,838,754	679,985,599	635,902,481
(f) 分配金	87,037,599	86,756,503	86,430,327	57,580,776	54,887,965	54,624,873
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	871,798,226	800,059,909	737,079,492	695,257,978	625,097,634	581,277,608
(h) 受益権総口数	14,506,266,656□	14,459,417,269□	14,405,054,623□	14,395,194,058□	13,721,991,474□	13,656,218,422□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 186 期	第 187 期	第 188 期	第 189 期	第 190 期	第 191 期
1 万 口 当 り 分 配 金	60円	60円	60円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

運用報告書 第32期（決算日 2018年10月15日）

（作成対象期間 2018年4月17日～2018年10月15日）

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債、ＡＢＳ（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、ＭＢＳ（モーゲージ担保证券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
株式組入制限	純資産総額の10%以下

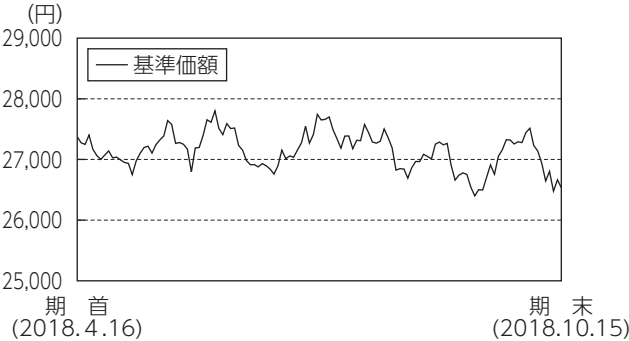
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSEオーストラリア 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率		債 券 先物比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%	%	%
(期首)2018年 4月16日	27,375	—	28,073	—	98.1	△5.7		
4 月末	27,027	△1.3	27,587	△1.7	97.9	△5.6		
5 月末	27,189	△0.7	27,943	△0.5	98.0	△5.7		
6 月末	26,897	△1.7	27,664	△1.5	97.6	△4.8		
7 月末	27,309	△0.2	28,045	△0.1	97.6	△4.8		
8 月末	26,904	△1.7	27,678	△1.4	98.8	△5.0		
9 月末	27,277	△0.4	27,975	△0.4	98.1	△5.0		
(期末)2018年10月15日	26,534	△3.1	27,157	△3.3	97.9	—		

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算) は、FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,375円 期末：26,534円 騰落率：△3.1%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、豪ドルが円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、当作成期を通して、金利はおおむね横ばいから低下となりました。

当作成期首より、米国と中国の貿易摩擦への懸念が後退したことなどからオーストラリアの金利は上昇傾向となりましたが、2018年5月後半以降は、イタリアの政治情勢や米中貿易摩擦への懸念が

高まったことなどから金利は低下傾向となりました。また、トルコ情勢への懸念が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことなども、金利の低下材料となりました。9月以降は、オーストラリアのGDP (国内総生産) などの経済指標が堅調だったことやリスク資産の価格が堅調に推移したことなどから、金利は上昇傾向となりました。

○ 為替相場

豪ドルは、当作成期を通して下落 (円高) しました。

当作成期首より、米中貿易摩擦やイタリアの政治情勢、経済指標の動向などに左右されつつも、豪ドル円は方向感のない推移が続きました。2018年8月に入ると、トルコ情勢への警戒感が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、豪ドル円は下落しました。9月中旬以降は新興国通貨安への懸念が後退し、市場のリスク回避姿勢が和らぐ中でいったん豪ドル円は上昇しましたが、10月に入ると、再度市場のリスク回避姿勢が強まる中で円高豪ドル安となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ ポートフォリオについて

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)
合 計	5

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年4月17日から2018年10月15日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	
		特殊債券 12,866	17,728 (—)	
		社債券 1,592	9,348 (500)	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2018年4月17日から2018年10月15日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 1,467	百万円 2,341

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年4月17日から2018年10月15日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 6.25% 2020/2/21		630,112	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 2.75% 2027/8/20		773,773
South Australia GOV.FIN.AUTH. (オーストラリア) 3% 2028/5/24		406,877	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP. (オーストラリア) 3% 2027/10/21		409,389
Macquarie University (オーストラリア) 3.5% 2028/9/7		80,051	National Australia Bank Ltd (オーストラリア) 4.25% 2019/5/20		328,413
Bank of Nova Scotia/Australia (カナダ) 3.2% 2023/9/7		48,248	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 2.8% 2021/1/15		246,880
			Commonwealth Bank of Australia (オーストラリア) 4.25% 2019/4/24		245,578
			Coca-Cola Co/The (アメリカ) 2.6% 2020/6/9		184,439

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		末					
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 168,575	千オーストラリア・ドル 175,825	千円 13,993,923	% 97.9	% －	% 44.2	% 37.0	% 16.7	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当		期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	5.7500	%千オーストラリア・ドル 3,000	千オーストラリア・ドル 3,276	千円 260,794	2021/05/15
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	4.5000	8,000	8,294	660,138	2020/04/15
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	9,000	9,395	747,777	2025/04/21
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	4.0000	5,000	5,336	424,704	2024/05/22
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	3.0000	2,000	1,957	155,800	2028/04/18
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	5.5000	5,000	5,484	436,523	2022/03/29
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	2.7000	3,000	3,005	239,211	2022/09/05
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特 殊 債 券	5.0000	8,000	8,874	706,345	2024/03/19
	Airservices Australia	特 殊 債 券	4.7500	4,400	4,596	365,807	2020/11/19
	Airservices Australia	特 殊 債 券	2.7500	2,860	2,843	226,277	2023/05/15
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	2.7500	7,000	7,058	561,776	2022/10/20
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000	500	491	39,157	2027/10/21
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000	5,000	4,965	395,184	2026/10/21
	South Australia GOV.FIN.AUTH.	特 殊 債 券	3.0000	5,000	4,891	389,338	2028/05/24
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	6.2500	7,500	7,907	629,373	2020/02/21
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	5.7500	10,000	11,607	923,856	2024/07/22
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.2500	10,000	10,149	807,806	2026/07/21
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特 殊 債 券	2.8000	3,000	3,027	240,918	2021/01/13
	INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券	2.7000	5,000	5,035	400,743	2021/02/05
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	4.7500	9,500	10,448	831,556	2024/08/07
	NORDIC INVESTMENT BK.	特 殊 債 券	5.0000	5,000	5,406	430,279	2022/04/19
	COUNCIL OF EUROPE	特 殊 債 券	6.0000	1,065	1,138	90,589	2020/10/08
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	5.0000	3,000	3,240	257,905	2022/03/09
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	2.7000	7,000	7,049	561,074	2021/08/18
	AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特 殊 債 券	2.7500	10,000	10,058	800,540	2020/02/03
	Coca-Cola Co/The	社 債 券	2.6000	2,500	2,503	199,271	2020/06/09
	University of Sydney	社 債 券	3.7500	6,000	6,143	488,924	2025/08/28
	Australian National University	社 債 券	3.9800	4,040	4,184	333,016	2025/11/18
	Bank of Nova Scotia/Australia	社 債 券	3.2000	600	596	47,444	2023/09/07
	University Of Melbourne	社 債 券	4.2500	4,210	4,383	348,848	2021/06/30
	Macquarie University	社 債 券	3.5000	1,000	983	78,266	2028/09/07
	Commonwealth Bank of Australia	社 債 券	3.2500	10,000	10,092	803,230	2022/01/17
	Westpac Banking Corp	社 債 券	3.2000	1,400	1,400	111,439	2023/03/06
合 計	銘 柄 数 金 額	33銘柄		168,575	175,825	13,993,923	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,993,923	97.9
コール・ローン等、その他	299,418	2.1
投資信託財産総額	14,293,341	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝79.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（14,265,989千円）の投資信託財産総額（14,293,341千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	当	末
(A) 資産	14,293,341,668円	
コール・ローン等	114,804,419	
公社債(評価額)	13,993,923,605	
未収利息	137,307,739	
前払費用	6,255,774	
差入委託証拠金	41,050,131	
(B) 負債	4,022,486	
未払解約金	4,022,459	
その他未払費用	27	
(C) 純資産総額(A－B)	14,289,319,182	
元本	5,385,201,003	
次期繰越損益金	8,904,118,179	
(D) 受益権総口数	5,385,201,003口	
1万口当り基準価額(C／D)	26,534円	

* 期首における元本額は5,877,803,583円、当作成期間中における追加設定元本額は27,046,941円、同解約元本額は519,649,521円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界債券ファンドM (FOFs用) (適格機関投資家専用) 107,387,372円、常陽3分法ファンド66,629,015円、ダイワ世界債券ファンドV A (適格機関投資家専用) 14,060,709円、ダイワ世界債券ファンド (毎月分配型) 2,036,896,947円、ダイワ世界債券ファンド (年2回決算型) 2,936,994円、ダイワ高格付3通貨債券ファンド (毎月分配型) 40,182,931円、ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型) 3,117,107,035円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は26,534円です。

■損益の状況

当期 自2018年4月17日 至2018年10月15日

項 目	当 期	
	当	期
(A) 配当等収益	267,489,702円	
受取利息	267,430,273	
その他収益金	68,532	
支払利息	△	9,103
(B) 有価証券売買損益	△	726,550,344
売買益	42,314,756	
売買損	△	768,865,100
(C) 先物取引等損益	△	2,317,561
取引益	8,447,695	
取引損	△	10,765,256
(D) その他費用	△	2,841,556
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	△	464,219,759
(F) 前期繰越損益金	10,212,587,393	
(G) 解約差損益金	△	891,090,601
(H) 追加信託差損益金	46,841,146	
(I) 合計(E + F + G + H)	8,904,118,179	
次期繰越損益金(I)	8,904,118,179	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。